

最新の訓練機器のご案内

OPERATOR

SEECAT'24
テロ対策
特殊装備展
に出展

軍事/警察警備用

バーチャルリアリティ

VR CQB近接戦闘訓練ツール コンテンツ紹介

近接戦闘から不審者対応まであらゆる訓練が可能
実弾を使用せず、安全に危機管理能力を向上させるVR仮想空間訓練システム

- 「動vs動」の判断能力向上
- 実弾を使わず安全な訓練が可能
- 米国防総省やLA市警SWAT等で採用

詳しくは動画を
ご確認ください



某駐屯地・その他治安機関による出張デモを行い評価のお声をいただいております

「特別な訓練環境は不要で、体育館で緊張感ある突発対処訓練ができる」(自衛隊)

「銃口管理含め、実施後すぐに動画で振り返ることができ教育効果が高い」(自衛隊)

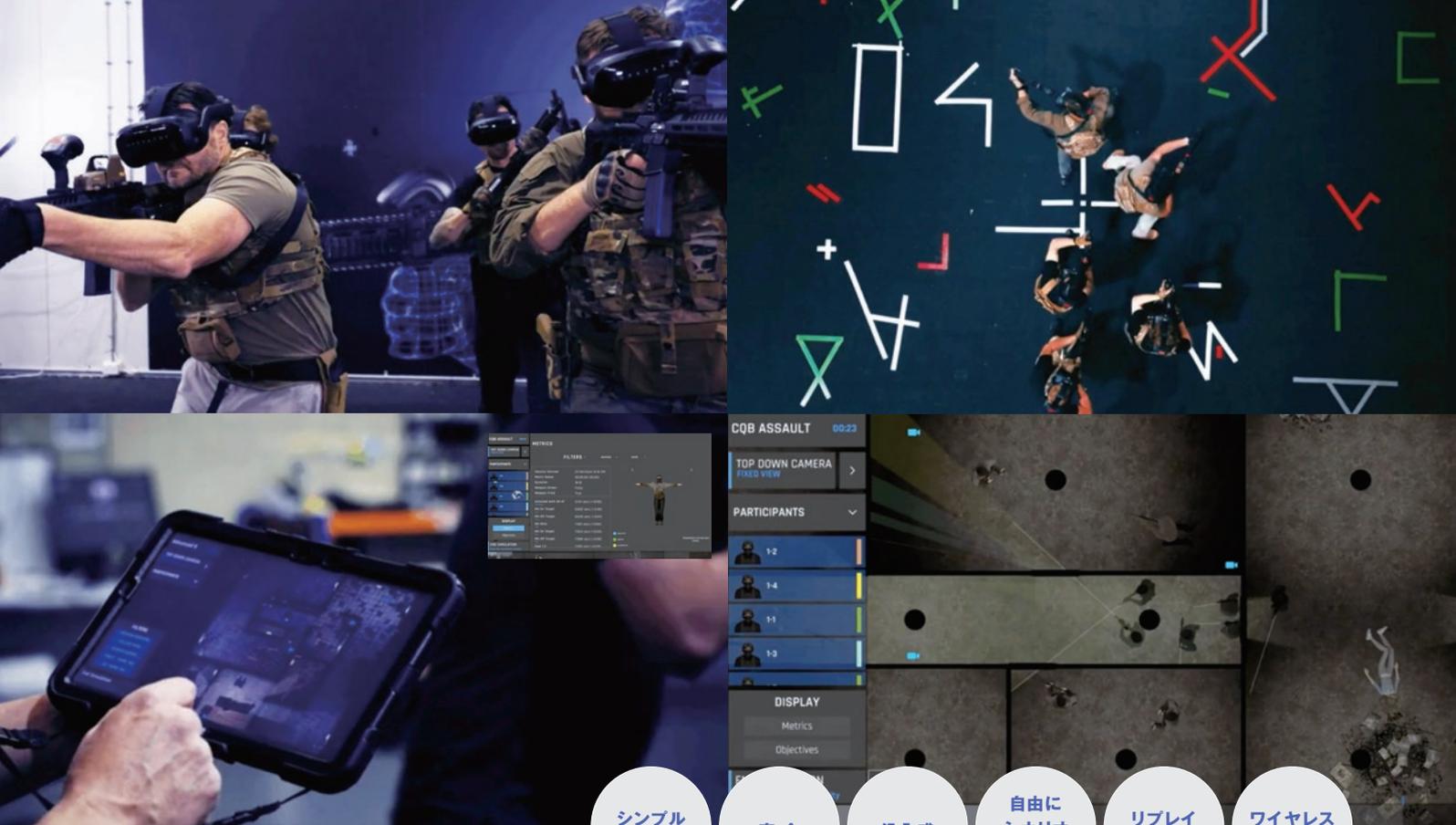
「複数同時での訓練ができるなら、被害者役を入れて実践さながらの訓練ができる」(警察)

「自分でシナリオが作れるなら、突入前の想定もできる」(警察)

※メーカーであるX Reality Group Limited(ASX:XRG)は、軍や法執行機関向けのソフトウェア開発を行うオーストラリアの上場企業です。

部隊力向上に貢献！出張デモ実施中！お申込みをお待ちしています

5月21日(水)～23日(金)開催の「DSEI JAPAN 2025」に出展予定！



テロや有事に備え「個」の危機管理能力、「隊」の行動範囲/連携力を向上させる VR仮想空間訓練システム

実弾を使わず安全に、近接戦闘訓練・不審者対応訓練が可能

オーストラリア軍特殊部隊出身者によって開発された「オペレーターXR」。現実と錯覚する没入感で、実戦さながらの近接戦闘や不審者対応訓練を、実弾を使わず安全に実施できます。

個人のスキル向上から部隊全体の連携強化まで、あらゆる危機管理シナリオに対応。危険な状況下でも冷静に判断し、迅速に行動できる「真の実戦力」を養成し、組織全体の能力を底上げし、部隊力の増進に貢献します。



オペレーターXRの機器



タブレット

※その他、PCとWiFiが必要となります



VRヘッドセット



模擬銃に装着する
リコイルトラッカー



※陸上自衛隊HPより引用

防衛システムや個人装備同様に重要である
個人/部隊単位での行動規範/危機管理能力を醸成します。



訓練効果

- 「動vs動」の判断能力向上
従来再現し難かった、標的も自分も動く「動vs動」の訓練法を確立できます。普段磨いた基礎技術を対人応用力へと昇華させます。
- 連体行動性の向上
最大12名まで同時に訓練が可能。グループ演習を組み合わせ、効果的なトレーニングの実現が可能です。
- 訓練効率
実弾訓練に比べ、安全管理に関する制約事項等が少ないため、反復回数を大幅に増やす事ができます。

教育効果

- 教育性・訓練効果
何面でも自由にシナリオを作成でき、複数視点でレビューが可能のため、銃口管理やチームの監視が容易で的確な指導が実施できます。
- 訓練資源の削減・最適化
資材・人員・場所の制約から実戦の教場の準備は困難ですが、本VR訓練ツールは、突発的状況への対応訓練を自由に作成し、実行可能です。

部隊力の増進に貢献します

予期せぬ状況に対しての判断力を問う訓練を通して、
新たな課題を抽出し、個人・部隊に必要な実践力が養う下地を作り、組織全体の能力を底上げします。



※陸上自衛隊HPより引用

運用・管理面でも多くの導入メリットが期待できます



安全性

VRを活用した訓練により、死傷事故の発生リスクが極めて少なく、安全に高い練度の訓練が実施可能です。



時間効率

薬莖紛失や捜索の懸念がなくなることや、準備や撤収に要する時間を大幅に短縮でき、時間効率が飛躍的に向上します。



時間制約からの解放

待機時を含め、365日24時間いつでも訓練が可能であり、時間や場所を問わず柔軟かつ効率的にトレーニングを行うことができます。



実戦再現性・没入感

具体的な戦況を再現するシナリオを自由に作成することができ、繰り返し訓練することで実戦前の作戦確認・連携改善が容易になります。



場所・天候問わず訓練可能

携帯性に優れたシンプルな機材を持ち込むだけで、屋内のどこでも訓練可能。屋内故に天候に左右されにくく、訓練スケジュールに遅れが生じることもありません。



コスト削減

射撃専用訓練場等の施設が不要、且つ実弾・標的を使用しないため、ランニングコストの削減に繋がります。